

製 造 業

- ◇パン…3月末で組合員が2社脱退。子どもたちの食育を考え、週1回程度の操業で一生懸命頑張っているが、従事者の高齢化、機械の老朽化など先行きは厳しい。
- ◇酒…1月の課税移出数量は前年同月比94.7%で先月と同水準。特定名称酒（吟醸・純米・本醸造）は前年同月比107%と前月に引き続き好調だったが、普通酒は前年同月比92.8%と低調。焼酎は前年同月比77.2%と大きく落ち込み、今後の伸びは期待薄。平成27年の年間伸び率は90.4%と平成25年以降下げ幅が拡大傾向にある。清酒輸出の現状は、特定名称酒の輸出数量が全体の過半数を占めている。輸出先は、①アメリカ、②韓国、③台湾、で過半数を占める。このほかベトナムでは、直近10年間に於いて金額ベースで20倍の伸びがみられる。TPP交渉の大筋合意で、現在の関税24%が批准後3年間で撤廃されるため、同国への輸出拡大が期待できる。清酒需要開発事業として、毎年4月に「新酒を啣く会」を開催している。インバウンド対応の地域イベントとして情報発信していきたい。また、今年5月に開催されるG7つくば科学技術大臣会合においても、日本酒での乾杯を要請し、茨城（つくば）の銘酒をPRする予定。
- ◇納豆…大手企業は順調だが、中小企業はジリ貧の状態が続いている。一時期みられた過当競争は落ち着いているが、人手不足が深刻で、求人広告を出しても集まらない。
- ◇菓子…例年、2月は売上・収益共に低調な時期だが、前年と同程度の実績を確保できた。3月の繁忙期に期待したい。
- ◇繊維製品(袋物)…仕事量は平年並。人材確保が課題。
- ◇木材…株安、原油安などの不安定要因があり、今後の動向が不安視されている。日銀がマイナス金利を導入したことで、住宅ローン金利は低下する見込み。消費増税前の駆け込み需要に期待する一方で、増税後の値下がりを持った方が得という見方もあり、先行きは不透明。例年、2月は不需要期であり、市況は全般的に弱含みの状況。
- ◇プレカット…まったく冴えない2月だった。見積もりも少なく、目標の50%程度しか達成できなかった。3月も同様になるかもしれない。製品価格は今のところ大きな変動なし。
- ◇段ボール…対前年同月比でやや悪化した企業が多

かった。組合員ではないが、県内で同業者が倒産。千葉県、埼玉県、群馬県でも倒産があった模様。なかなか販売量が増加しない現状を考えると、今後、倒産が増加するかもしれない。

- ◇コンクリート製品…組合員1社が民事再生手続きを開始。
- ◇焼物…前月から大きな変化なし。春のイベントに向けて、試したいことがあるので実行したい。
- ◇鍍金…受注量が前年同月比1割程度減少。特に、自動車部品、弱電部品関係、建機が低調。金属材料価格は安値で推移。工業薬品価格は大きな変動なし。業界が全体的に低迷気味で、3月もこの状況が続くと思われる。
- ◇電化機器…当月の生産高は対前年同月比△1.7%の657百万円。自動車関連は増加に転じたが、家電関連は回復の兆しが見られず、依然として厳しい状況が続いている。
- ◇自動車部品…企業間の格差が拡大傾向にある。
- ◇工業団地(農機部品)…主得意先の生産が落ち込んだが、前年同月と同程度の実績を確保した。人員を増加させた企業もあるが、予想より受注が低調なため今後は減少する見込み。

非 製 造 業

- ◇水産卸…精算所取扱高は対前年同月比8.96%増。閏年で営業日が1日多かったため、量販店の売上が伸びた。
- ◇県南地区卸売…業務用食材関連企業の売上高は順調に伸びているが、日用品・雑貨関連企業は、卸先の減少により依然として厳しい状況が続いている。
- ◇食品卸売…野菜・果実合計で前年同月を上回る取扱高となった。先月に引き続き柑橘類とイチゴが品薄で、単価高で推移し、販売に苦慮する状況だった。
- ◇セメント卸…袋セメントの出荷数量は前年同月比約10%の減少。対前月比では約14%の増加。年度末に向けて増加が見込まれる。
- ◇家電…先月より更に厳しい状況。現状、需要が減少して打つ手がない。リフォーム工事などで落ち込んだ分をカバーしている。点検訪問などで商談率をあげるなど地道な活動を続けている。訪問活動を疎かにすれば更に厳しくなる。
- ◇県北地区共同店舗…閏年で営業日が1日多かったが、食料品部門以外は前年度の売上を達成できなかった。
- ◇県央地区共同店舗…食料品部門では客数・売上と

もに前年実績を確保できたが、衣料品部門は落ち込んだ。

◇**県南地区共同店舗**…気温が低かったため衣料品が好調で、対前年同月比103%を記録。その反面、生活・住居関連は苦戦。特にアミューズメント関連は、家族連れの利用客数が少なく、対前年同月比80%以下となった。

◇**農機具**…農家の購買意欲低下や廃業の増加により、販売数量・粗利ともに減少傾向にある。

◇**中古自動車**…先月に引き続き苦戦。販売台数は低迷し、単価も下がっている。オークション事業でも売価が低下している。

◇**石油**…ガソリンの販売価格は前年同月比で22円下落した。依然として、元売子会社や大手業者による仕入れ価格を下回るような価格での安値販売競争が県内全域で行われているため、経営環境は非常に厳しい。

◇**商店街(下妻)**…国道125号沿いにカスミフードスクエアがオープンする。客数の減少が心配される。原材料が値上がりし、収益が悪化。3月末で1社脱退予定。

◇**ホテル旅館**…県北臨海エリアでは、「温泉と鮫鱈鍋」を目的とした首都圏からの個人客が増加し、少しずつではあるが上昇傾向にある。特に日立では、宿泊・宴会ともに増加し、工事関係者の連泊も多い。県北山間エリアでは、アップルパイフェアやローソンでの商品化など地域連携が好循環をもたらしている。水戸・大洗では個人客が増加し、消費単価も上昇。つくば・鹿嶋は横ばい。

◇**自動車整備**…組合員事業場の車輛入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の対前年同月比は、普通車95.2%と減少、軽自動車は102.5%と微増。

◇**総合建設**…建設工事では年度繰越工事が発注された。例年より動きが早く、金額・件数ともに増加。一方で土木工事は低調。年度末工事は各社とも早目に竣工し、検査待ちの状態。この結果、手持ち工事がなくなりつつあり、4月・5月は厳しい状況が予想される。

◇**県北地区運輸**…主要顧客の出荷物量は減少傾向で、それに伴い売上も減少。燃料価格の値下がりにより歯止めがかかり始めた。

◇**県央地区運輸**…稼働日数が少なかった。ハウスメーカーや農機具関連など、特定の品目では荷動きがよかったが、全体で見ると平年並。燃料価格が安値で推移しているのほっとしている。

H28.2月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品製造業			0.0		▲20.0
その他製造業			▲36.8		▲52.6
卸売業			50.0		0.0
小売業(商店街を含む)			▲81.8		▲81.8
サービス業			50.0		50.0
建設業			▲20.0		▲40.0
運輸業			▲100.0		▲100.0
全体			▲33.3		▲47.9

【天気図の見方】県内情報連絡員が毎月いただいている情報連絡業の票況項目について、「増加」(又は「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(D.I値)をもとに作成しています。その基準は、下記のとおりです。

30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.I値

中小企業を勝利に導く!あなたの会社のサポーター

現代の様々な困難に立ち向かう中小企業経営者のみなさまに、当社の経験豊富なコンサルタントが会社の更なる成長のお手伝いをいたします!

できる社員を育てたい!

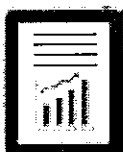
経営戦略を刷新したい!

収益力をアップしたい!

株式会社マネジメントセンター

お気軽にすぐお電話を!

029-246-4671



無料診断実施中!

経営診断で会社の発展につながる課題を見つけませんか!

迅速丁寧・効果実感!
県内企業支援500社の実績を
実感してください!

株式会社マネジメントセンター

応援しています!



〒310-0836 水戸市元吉田町1041-4 サン・ビルディング4F
TEL:029-246-4671 FAX:029-246-4672 E-mail: info@isommc.com